

広報

いちき串木野

愛がっぱいのまち

Ichikikushikino City

Public Relations

12

2019年12月20日発行
VOL.170



おふくろの味にチャレンジ♪

みそ作り体験(11月5日～6日)

おごじょ塾の恒例企画となったみそ作り。今年も「目指せ!おふくろの味」と意気込んで挑戦です♪

～大里加工グループの皆さんにご指導いただきました～



毎日の食卓に欠かせないみそですが、鹿児島のみそは、麦麴を使用した麦みそが主流。麦の甘みと、蒸した大豆のおいしさがギュッと詰まった素朴な郷土の味。

市販の美味しいみそが簡単に手に入る時代ですが、自分達で作る手作りみその味は、やはり格別なものです。

様々な工程を手際よく作業していきます。農産加工センターの「製麴機」を使うと、たね麴を混ぜて1日寝かせるだけで、翌朝にはきれいな麦麴が完成♪独特の甘い香りが室内に漂います(*^_^*)

麦麴と大豆をしっかり混ぜ合わせ、完成したみそは約1か月間、じっくり寝かせたら食べ頃だとか…。「早く食べたい(>_<)!!」と、1か月が待ち遠しく、そして楽しみなおごじょ達でした。



きれいな麴の花が咲きました♪



大豆もたっぷり使います。蒸してつぶして…モンブランのようです♪

レタスの定植(11月20日)



お天気に恵まれたこの日、レタスの定植作業を行いました。苗は本市の女性農業者の松田理恵さんが作った素晴らしい苗!!

巻きタイプとリーフタイプの2種類の苗を植え付けます。

マルチを張る人、穴を開ける人、苗を植える人…おごじょ達もすっかり慣れて、役割分担で効率的に作業が進みます!

楽しい収穫は年が明けてから♪寒い冬を乗り越えるレタスのパワーですごいですね!!



忘れた頃にひょっこり!?

あれは2年前。収穫の日を夢見て、しいたけの駒打ち作業をしたおごじょ達…。すっかり待ち遠しさも忘れていたある日、なんと!!ひょっこり顔を出しているではありませんか(*^_^*)



食彩だより

海・山など自然に囲まれ、様々な食材・食文化に恵まれたいちき串木野市の食に関わる情報をお伝えします!

農政課(☎33-5635)

柑橘産地の楽しみ方♪

いちき串木野市は、県内でも有数の柑橘の産地です。温暖な気候と水はけの良い土壌、そして生産者の熟練の技が、とてもおいしい柑橘を育てます。今回は柑橘の産地ならではの様々な楽しみ方をご提案♪

その① 食べて楽しむ♪

ハウスミカンに始まり、極早生みかん、温州ミカン、デコボン、ポンカン、サワーポメロ…と、夏から春先にかけて柑橘を食べられるのは産地ならではの!ぜひ、お気に入りの柑橘を見つけてみてください♪



その② 香りで楽しむ♪

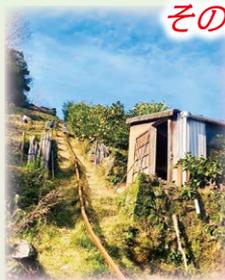
～甘い香りに誘われて～

柑橘の花の香りをご存じですか?みかんの花は白くてかわいらしく、何とも言えない甘い香りです。またサワーポメロは花だけでなく、実が熟してくると畑一面に芳醇な香りを漂わせ、自ら収穫期を教えてください。柑橘の香りで心も身体もリフレッシュ!



その③ 見て楽しむ♪

～段々畑のある風景～



市来地域に今でも残る段々畑。大里地区では戦前からみかんの栽培が始まり、「大里みかん・大里ぼんかん」で銘柄のある所です。山を切り開いた先人の苦勞に想いを馳せながらのんびり段々畑を回ってみるのも、産地ならではの楽しみ方かもしれません♪

その④ 作って(栽培)楽しむ♪

究極の楽しみ方は、自ら柑橘を作ること!最近、農家の高齢化や後継者不足で、栽培が難しくなっている畑もあります…。柑橘栽培は大変な苦勞がありますが、収穫の喜びはひとしお。次世代に産地を繋ぐために、柑橘栽培に取り組む意欲ある就農者を募集しています!





アルコールとのお付き合い



～多量飲酒による身体への影響～

お酒に強い、弱いは関係ない!!

お酒に強い人も弱い人と同様に身体への影響を受けます!

肝機能障害

肥満・高血圧
糖尿病

胃炎・膵炎

がん



脳や認知機能障害

依存症による
精神障害



「**節度ある適度な飲酒**」を!!

純アルコールで平均 **約 20g/日** (健康日本 21)

※女性は男性の 1/2 ~ 2/3 程度が適当

(男性に比べてアルコール分解速度が遅く、臓器障害を起こしやすいため)

●純アルコール量の計算方法●

飲酒量 (ml) × アルコール度数 / 100 × 0.8 (アルコールの比重) = 純アルコール量 (g)

(例) アルコール度数 5%のお酒を 500ml 飲んだ場合 500ml × 5/100 (= 5%) × 0.8 = 20g

<1日の適正飲酒量>



ビール (5%)	日本酒	焼酎 25 度	ウイスキー	ワイン 12 度	缶酎ハイ (5%)
1 杯 500ml	1 合 180ml	0.6 合 110ml	ダリ1杯 60ml	2 杯 200ml	1 缶 500ml

お酒と上手につき合うには…

入浴・運動・仕事前は控える必要があります、妊娠・授乳中、未成年は**禁止**されています。次のことに気を付けて飲みましょう。

「健康を守るための飲酒ルール」

適量を守る

食事と一緒に
ゆっくりと

深夜まで
飲まない

週に **2 日**は
休肝日

定期的な
検診を

まちの話題

鹿児島県畜産共進会 受賞



9月28日、始良中央家畜市場で第68回鹿児島県畜産共進会が開催されました。

市来農芸高校畜産部からは肉用牛3頭を出品し、若雌2区の部で初となる最優秀賞2席と体積部門の特別部位賞を受賞。他2部門でも最優秀賞を受賞しました。

また、10月1日と2日に行われた鹿児島県ホルスタイン共進会では出品した3頭すべてが最優秀賞1席を受賞。さらに5部門の最優秀賞1席の中から選ばれるジュニアチャンピオン賞を初めて受賞しました。

両大会で牛を引いた同高校2年の上田平夏美さん、宮下未来さん、中養母陸斗さんは、「いろいろな人のサポートに感謝している。九州大会では、緊張が牛に伝わらないように牛の魅力を引き出せるように牛を引きたい」と話してくれました。

ホルスタイン共進会で受賞した3頭は、11月1日と2日に行われた九州大会に出場し、第2部で名誉賞(首席)を受賞しました。

県知事表彰の貫蘭さんが表敬訪問



表敬に訪れた貫蘭さん(中央)と市身体障害者協会の浅井会長(左)

10月30日に鹿児島市で開催された鹿児島県障害者保健福祉大会において、貫蘭多紀子さん(東塩田町)が、障害者自立更生部門で三反園知事より表彰を受けました。

貫蘭さんは、長年に渡り市役所で電話交換手として勤務する傍ら、市の身体障害者協会の役員を歴任され、本市の障害者福祉の推進に大きく寄与されました。

おめでとうございます。



～地域特産品の開発に尽力～ 農山漁村女性活動功労者表彰



本市生活研究グループの松崎和子さんが、11月21日に県民交流センターで開催された「令和元年度農山漁村女性活動功労者経営部門」において表彰を受けました。

松崎さんは、市来大里加工グループの立ち上げに尽力し、長年にわたって、ポンカン、サワーポメロ、ちりめんなどの地域産物を活用した商品開発や地域住民への農産加工指導に携わり、地域活性化に貢献されてきました。

おめでとうございます。

女性に対する暴力をなくす運動



11月12日から25日の『女性に対する暴力をなくす運動』に合わせ、串木野庁舎・市来庁舎の玄関ロビーに、運動のシンボルであるパープルリボンを結ぶツリーを設置し、女性に対する暴力の根絶を訴えました。

この取組は「国際ソロプチミストいちきくしきの」の協力で行われました。

※国際ソロプチミストとは

女性と女兒の生活を向上させるために活動している女性の世界的奉仕団体です。

身体的暴力だけが暴力ではありません。精神的暴力(怒鳴る・無視する等)も暴力です。相手がどのような間柄でも決して許されません。DVで悩んでいる方は、ひとりで悩まず相談してください。

●鹿児島県男女共同参画センター

☎099-221-6630/6631

(9:00～17:00 月曜日休館)



目指せ日本一！ 神村学園壮行会



12月11日、神村学園から全国大会に出場する5つの部を激励しようと市民文化センターで壮行会が行われました。

高等部からは女子駅伝部、男子・女子サッカー部、吹奏楽部、中等部からは男子サッカー部が12月から2月にかけて行われる全国大会に出場します。選手を代表して、高等部男子サッカー部の軸丸廣大主将が「地元いちき串木野市を盛り上げ、市民の皆さんに勇気と感動を与えられるよう、日本一を目指して頑張ります」と大会に向けての意気込みを述べました。

また、本市出身の選手や部員を紹介する場面では、会場から大きな拍手が沸き起こりました。

ぜひ日本一を目指して頑張ってください。



吹奏楽部

○大会日程

女子駅伝部

12月22日(日)10:20スタート

男子サッカー部

初戦 VS 前橋育英

12月31日(火)12:05キックオフ

女子サッカー部

初戦 VS 北海道文教大学明清高校

令和2年1月3日(金)10:30キックオフ

吹奏楽部

令和2年2月2日(日)

中等部男子サッカー部

初戦 VS 徳島ヴォルティスジュニアユース

12月21日(土)11:00キックオフ



女子駅伝部



男子サッカー部



女子サッカー部



中等部男子サッカー部

冠岳山麓の魅力を発掘もみじ狩り散策ツアー



11月22日、冠岳山に広がる魅力を歴史や史跡の視点から掘り起こそうと、もみじ狩り散策ツアーが開催されました。参加者は、まち歩き達人、東川隆太郎さんの案内で、冠嶽神社周辺に広がる史跡や冠嶽園などをめぐり、東川さんが出題するクイズなどで楽しく学びました。

また、お昼は生福・冠岳地区のファン作りに取り組む「えんたく」が作った薬膳弁当を美味しく食べていました。お弁当には生福地区まちづくり協議会が作っている黒にんにくや地元産食材、冠岳の薬草園で栽培されていた薬草などが使われており、今後、地域資源活用のヒントになりそうです。



地域素材を活用した薬膳弁当

地域の魅力発信 かんむりだけ山市物産展



11月23日、冠岳花川砂防公園でかんむりだけ山市物産展が開催され、約8千人が訪れました。物産展では、地元特産品を買い求める人で賑わい、ステージでは冠岳小学校の児童による合唱とオカリナの演奏を皮切りに、生福保育所の園児のダンス、尺八や二胡の演奏など、地域色豊かな催しが披露されました。また、冠岳の徐福伝説にちなんだ串木野高校書道部の書道パフォーマンスのほか、創作太鼓の演奏、太極拳、住吉社中による太鼓三味線なども披露され、訪れた人は、紅葉で色づいた景色とともに秋の冠岳を楽しんでいました。

加温大将季鉢入れ式



11月25日、大里地区の西中間勉さんの農園で、JAさつま日置の令和元年産加温大将季(だいまさき)の鉢入れ式が行われました。

JAさつま日置管内で栽培するデコポンはすべて、果皮と果肉色が濃い、鹿児島県独自の品種「大将季」です。見た目が美しく贈答用としても人気があります。

この大将季は、安心・信頼を確保するため、一定の基準を満たした農林水産物を鹿児島県が独自に認証する「かごしまの農林水産物認証制度」を取得しています。同管内には11名の生産者がおり、本市では4名の生産者が84アールで栽培しています。今年度は管内130トンの出荷を見込んでいます。

御倉山で自然を楽しんで



本浦地区まちづくり協議会が、11月16日、御倉山公園で「私たちの遊べる森を作ろう」プロジェクトを開催しました。

これは、地域の遊び場だった御倉山公園を、子ども達に知ってもらい、自然の中で遊び、色々な体験から学んでほしいと本浦地区住民が4年前から環境整備に取り組んでいる事業の一環です。当日は、家族連れなど約40名が集まり、松ぼっくり宝探し、秘密基地作りなどのイベントを楽しみました。公園内には遊歩道もあり、ハンモックや綱わたりなどの遊具も整備されています。

市内から参加した小学3年の南新唯斗くんは、「初めて秘密基地を作って楽しかった」と笑顔で話しました。次回は1月18日に行われます。

「ナイスショット！」田んぼゴルフで交流



12月1日、荒川地区で第25回田園荒川ず カップゴルフ大会が開催されました。

これは、稲刈り後の田んぼをゴルフコースに見立てたもので、川越えや打ち下ろしのコースなど、難関18ホールに約70名の田んぼゴルファーが挑みました。

コース内では、クラブに草がからまったり、川に打ち込むなどの珍プレーが続出。これまでも複数回参加しているというベテランの大平良徳さんは、「今年は草に隠れたボールを見つけるのに苦労したが、良い汗をかいた」と笑顔でプレーしていました。

また、コース脇では、地元物産を振る舞う、特設茶屋も設けられ、多くのゴルファーが笑顔で交流していました。

洪水・土砂崩れに備え自主防災訓練



11月10日、中央地区まちづくり協議会は洪水・土砂崩れを想定した自主防災訓練を中央地区一帯で実施しました。

今回の訓練は、地区内住民の災害発生時の自助・共助の意識を高めるために行われたもので、約140人が参加。住民は、指定の避難場所2か所へ避難し、避難場所の見学、消火器を使用した消火訓練を実践しました。その後、海上保安官による非常時に利用できるロープを結ぶ訓練を行い、県防災アドバイザーの講演などで緊急時の対応や早めの自主避難などを確認しました。

参加者からは、「玄関に避難者確認の表示をしたほうがいい」「訓練を重ねて避難の実効性につながる」等の意見が出され、災害時の備えを学びました。



身近に感じる一流の芸術



11月19日、生冠中学校で市町村による青少年劇場として、日本青少年文化センターによる弦楽四重奏が行われ、一流の芸術に触れる機会となりました。

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロといった弦楽器の紹介、ゴジラのテーマソングやアイネクライネナハトムジークなどの演奏のほか、四重奏での各楽器の役割の紹介がありました。最後はアンコール曲で「〈NHK〉2020応援ソング」のパプリカが演奏され、プロの演奏を間近で聞くことのできる貴重な体験となりました。

羽島の魅力を満喫 まち歩き



11月2日、くしきの白浜温泉周辺で「羽島の海の絶景を楽しむまち歩き」が開催されました。

これは、れいめい羽島協議会観光部会が羽島の魅力を多くの人に知ってもらい楽しんでほしいと主催したものです。当日は15名が参加し、観光ガイドによる景色の鑑賞スポットや羽島鉱山の歴史、じゃがいもなどの特産品の説明に熱心に聞き入るなど、約3kmのコースをゆったりとしたペースで散策しました。鹿兒島市からご夫婦で参加した税所富雄さん、紀子さんは「景色がいいので、ぜひ参加したいと思い申し込んだ。説明も分かりやすくてよかった」と笑顔で話しました。

また、当日は同協議会が主催した「羽島の夕べ」もくしきの白浜温泉で開催され、海岸線に沈む夕日を眺めながら、タヒチダンス、バンド演奏など、多くの来場者で賑わいました。



加藤雄吉墓碑説明碑の除幕式



親族の加藤ナル子さん

12月1日、麓出身の文学者・郷土史家である、加藤雄吉の足跡を記した石碑の除幕式が麓大堂庵墓地で行われました。

この墓碑と背面の漢文は、親交のあった森鷗外が加藤のために書いたとされています。

この説明碑を建立した上名地区まちづくり協議会会長の久木山純広さんは、「麓の歴史をしっかりと次の世代に伝承していきたい」と話し、参加者は加藤の遺徳を偲び、思いを馳せました。

B & G杯海洋センター開所記念 第42回少年剣道錬成大会



10月26日、第42回少年剣道錬成大会がB&G海洋センターで開催されました。市内外から31チームの参加があり熱戦が繰り広げられました。

○結果(優勝と本市関係分)

小学生の部

優勝 吹上剣道スポーツ少年団A(日置市)

中学生の部

優勝 伊集院中学校Bチーム(日置市)

第3位 串木野中学校Aチーム

第12回さのさ銃剣道大会

11月24日、第12回さのさ銃剣道大会が開催され、熱戦が繰り広げられました。

○結果

優勝 川内自衛隊B

※銃剣道は、相対する2人が防具を装着し、「木銃」と呼ばれる銃をかたどった木製の棒で突き合って勝敗を争う競技で国体の正式競技でもあります。



第24回 徐福ロマンロードウォーキング大会



11月23日、第24回徐福ロマンロードウォーキング大会が冠岳花川砂防公園周辺で開催されました。3km・8kmの2つのコースに、子どもから大人まで218名の参加があり、自然を感じながらウォーキングを楽しみました。休憩所やゴールでは、地元有志団体から黒砂糖、ゆで卵、みかん、餅等が振る舞われ大好評でした。

第24回B & G杯少年柔道錬成大会



11月10日、第24回B & G杯少年柔道錬成大会がB&G 海洋センターで開催されました。市内外から小学生の部16チーム、中学生男子の部15チーム、中学生女子の部8チームの合計39チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

○結果(優勝と本市関係分)

小学生の部

優勝 米倉柔道館(鹿児島市)

中学生男子の部

優勝 米ノ津中学校(出水市)

第3位 忠氣道場

中学生女子の部

優勝 伊敷中学校(鹿児島市)

第67回串木野弓道大会



9月29日、串木野弓道場で第67回串木野弓道大会が開催されました。当日は、県内各地から48チーム144名の参加があり、日頃の鍛錬の成果を発揮すると同時に、親睦を深めました。

○結果(本市関係分)

シニアの部 優勝 橋元 進(串木野B)

第5位 森 高清(串木野D)

高校生の部 優勝 池松 千織(神村学園)

第2位 桐原 大志(神村学園)

中学生の部 優勝 江藤 慶(串木野中)

第2位 野中 春花(串木野中)

いちき串木野市スポーツ少年団 本部旗争奪ソフトボール大会



11月10日、令和元年度いちき串木野市スポーツ少年団本部旗争奪ソフトボール大会が開催され、熱戦が繰り広げられました。

○結果

優勝 いちきソフトボールスポーツ少年団

準優勝 若鷲ソフトボールスポーツ少年団

第45回シーサイドソフトテニス大会



11月17日、市庭球場で第45回シーサイドソフトテニス大会が開催され、小学生から一般まで120名による熱戦が繰り広げられました。

○結果

一般の部A級

優勝 樋口・久木野組(串中OB)

第2位 小橋口・内組(串木野中)

一般の部B級

優勝 池之上・中尾組(市役所)

第2位 末川・平石組(串木野高)

女子の部A級

優勝 田丸・松崎組(伊集院ク)

第2位 前畑・有村組(串木野高)

女子の部B級

優勝 久保・荒田組(串木野西中)

第2位 濱田・池田組(串木野中)

第40回いちき串木野市秋季親善交流 グラウンド・ゴルフ大会



10月19日、第40回いちき串木野市秋季親善交流グラウンド・ゴルフ大会が開催され、34チーム170名の参加があり、交流を深めました。

○結果

団体の部 優勝 いちきコスモス

準優勝 かもめ

第3位 串協黒潮

個人の部 優勝 増田 千恵子(いちきコスモス)

準優勝 池田 多美子(生福愛好会)

第3位 安部 孝伸(いちきグランパス)



統計功績者を表彰

政策課 (☎33-5672)



濱田米夫さん 前屋孝子さん 松崎京子さん

長年にわたり各種統計調査に功績があり、統計行政の発展・向上に大きく貢献したとして、本市の統計調査員が統計功績者表彰を受賞し、第20回鹿児島県統計大会において表彰伝達式が行われました。

統計調査は、統計調査員の方々の地道な調査活動によって支えられています。今後とも統計調査に対する市民の皆様のご理解とご協力をよろしく願います。

受賞した調査員は、次のとおりです。(敬称略)

○経済産業省所管統計調査功績者表彰

前屋 孝子 (昭和通)

○鹿児島県統計協会会長表彰

濱田 米夫 (大里) 松崎 京子 (汐見町)

一人だけの金婚を祝い励ます会

福祉課 (☎33-5619)



11月8日、ホテルアクシアくしきので、「一人だけの金婚を祝い励ます会及び在宅福祉アドバイザー (ともしびグループ活動推進員) の集い」が開催されました。

これは市地域女性団体連絡協議会が開催したもので、高齢者宅への訪問活動を続けているともしびグループ活動推進員をはじめ、市内女性団体の会員など約170名が参加し、一人金婚者10名を祝い励ました。

当日は、警察署員による「高齢者の交通事故防止と運転免許の自主返納」についての講話や、市職員による「いきいきバス・いきいきタクシーの運行」についての説明、また、女性連による踊りやピアノ演奏に合わせての歌を楽しむなど、笑顔あふれる会となりました。

男女共同参画講座開催 「人権について～お互いから学び合う人権～」

政策課 (☎33-5672)



10月23日、串木野高校で男女共同参画事業の一環として、「人権について」の講座が開催されました。

参加した生徒は、コーディネーターの高崎恵さんによる6つの指示で絵を描いたり、その絵について、近くの人と見せ合い、同じ指示でも一人ひとり違うものができるということを実感・共有し、「ちがひ=間違い」ではないということ学びました。

生徒からは、「討論ではなく対話をして、何でも言い合える申高にしていきたい」など様々な感想がありました。

高崎さんは、「一人ひとりのこれまでの経験や物の捉え方が違うので、『違っていいんだ』という雰囲気づくりを心掛けると学校でも地域でも色々な意見が出るのでは」と締めくくりました。

元気いきいきフェスタ2019 (保健福祉大会)

福祉課 (☎33-5619)



「元気いきいきフェスタ2019 (保健福祉大会)」を、11月22日に市民文化センターで開催し、市民約550名が参加しました。

オープニングでは、生福保育所の園児がかわいらしいお遊戯を披露。続いて、保健福祉関係の功労者表彰や高齢で健康な自分の歯を持っている方の8020運動表彰、健康に関するポスター特別賞の表彰を行い、今年結婚50年を迎えたご夫婦に、金婚のお祝いを贈りました。その後、高齢者クラブ会員が歌や踊り、ハーモニカ演奏などを披露しました。

午後からは、みなと病院副院長の福元 晋一郎氏と作業療法士の下野 安佳里氏を講師に迎え、認知症に関する講演会が行われました。

参加者全員で健康や福祉について考えたり、実践したりする機会となりました。

響く歌声 会場が一つに ～市小・中学校音楽発表会～

学校教育課(☎21-5127)



11月6日、市内の小・中学校の児童生徒486名が集まり、合唱や合奏の学習の成果を発表する市小・中学校音楽発表会が市民文化センターで開催されました。

全員で心をつなげて市民歌を斉唱した後、合唱や吹奏楽のほか、オカリナ演奏や竹太鼓、和太鼓など各学校の特色を生かした発表が行われました。

どの学校もこれまでの練習の成果を十分に発揮し、一つの発表が終わるたびに会場は大きな拍手に包まれました。

鹿児島県国公立幼稚園・こども園協会 研究大会で小学生と園児が交流

学校教育課(☎21-5127)



11月14日、県内各地の公立幼稚園、こども園、市内の小・中学校の教諭約70名が参加し、鹿児島県国公立幼稚園・こども園協会研究大会が市来幼稚園で開催されました。

公開保育では、市来小学校の3年生と市来幼稚園の園児が、折り紙や椅子取りゲームなど様々な遊びを通して交流しました。また、研究協議では、幼稚園から小学校へのなめらかな接続について参加者から熱心な意見が出され、充実した研究大会となりました。

フードジャパン 2019(シンガポール)に いちき串木野市ブースを出展

政策課(☎33-5628)



10月31日から11月2日にサンテックシンガポールで開催されたアセアン最大の日本食見本市「FOOD JAPAN 2019」にいちき串木野市ブースを出展し、市内企業の商品をPRしました。

会場は、シンガポールやマレーシア、インドネシアなど周辺国からの貿易業者やレストラン関係者で賑わいました。本市のブースでは、さつまあげ、粉末だし、焼酎などが高く評価され、安全で高品質な日本の食品に関心が高いことを実感しました。

会場には、3日間で約10,000人が来場し、今後の海外販路開拓の可能性に大きな手応えを感じることができました。

健康なまちづくりフォーラム開催

串木野健康増進センター(☎33-3450)



11月10日、市民文化センターで健康なまちづくりフォーラムが開催されました。当日は、「血糖値が気になる方へ～すい臓とじん臓がよるこぶ生活習慣のススメ～」と題し、鹿児島大学大学院 糖尿病・内分泌内科学 診療講師の出口尚寿氏による講演会が行われ、日本人はインスリン分泌が少なく糖尿病になりやすいこと、食べ過ぎに気をつけ、少しずつ運動習慣をつけることなど、参加者は自己管理の大切さを学びました。

また、講演前には市民文化センターロビーで、血糖検査や血圧測定などの体験コーナーも設けられ、たくさんの方が健康づくりにふれる機会となりました。

女性委員会提言書を市へ提出

社会教育課(☎21-5128)



平成30年度から2年間、市政に女性の声を幅広く反映させ、女性の立場から意見・提言することを目的として、市女性委員会を開催してきました。

委員は地域から推薦された市内在住の41名で、18歳以上の幅広い年齢層や職種で構成されています。

毎回講師を招聘し、男女共同参画の視点を学習した上で、自助・共助を念頭に置いた地域づくりの意見・提言を行いました。

不登校児童・生徒の支援や中高年と子育て世代の交流、誰でも立ち寄れる交流食堂など、女性の視点での8つの提言となりました。

いちき串木野 WBS ツーリズム #五反田会館

観光交流課(☎33-5640)



11月9日、音と歴史に耳を傾けながら酒と食を味わう「いちき串木野WBS ツーリズム #五反田会館」を三井串木野鉱山の五反田会館で開催しました。

大正時代に造られた同会館は、普段一般公開されておらず、今回一夜限りのBARに姿を変えました。参加者は、お酒とともに本市ならではの食材を使った「燻製おつまみ」やアイリッシュ音楽の生演奏を堪能し、会場は幻想的な雰囲気にも包まれ、終始笑顔が絶えず、大盛況のうちに幕を閉じました。

市長の主な動き(11月)

※市長の過去1か月の主な活動を掲載しています。

日にち	内容
11/1(金)	石油コンビナート総合防災訓練(地下備事業所)
2(土)	鹿児島市制130周年記念式典
3(日)	市来小学校秋季大運動会
5(火)	市高齢者クラブ連合会パークゴルフ大会
6(水)	農業農村整備を語る会(鹿児島市)
7(木)	全国都市問題会議(霧島市)
8(金)	一人だけの金婚を祝い励ます会・在宅福祉アドバイザーの集い
9(土)	いちき串木野WBS ツーリズム #五反田会館
10(日)	関東串木野市民会(東京都)
12(火)	大里川改修要望(2億円の事業費内諾)(国土交通省他)
13(水)	九州地方国道整備促進総決起大会・要望活動(東京都)
14(木)	串木野建設業協会「市長と語る会」
17(日)	市総合防災訓練(照島地区)
18(月)	市議会臨時議会
19(火)	全国治水砂防促進大会・要望活動(東京都)
20(水)	市PTA連絡協議会「市長・教育長と語る会」
21(木)	都市基盤整備事業推進大会・要望活動(東京都)
22(金)	南九州西回り自動車道建設促進大会・中央要望(秋)(東京都)
23(土)	鹿児島地域植樹祭(鹿児島市)
25(月)	企業誘致に向けた懇談
27(水)	・農業委員会からの意見書提出 ・日置地区保育連合会「市長と語る会」
28(木)	・いちき串木野警察署と見守りカメラ管理協定を締結 ・農業委員との懇談会
29(金)	市議会(開会日)
30(土)	県PTA活動研究委嘱公開